

イチジク疫病

英名 : Phytophthora rot, White powdery rot

病原 : *Phytophthora palmivora* (Butler)Butler (べん毛菌類)



被害果の症状



葉の症状

生態と防除

発症部位 : 果実、葉

発生の経過 : 1. 伝染源 … 土壌中や空気中に常に存在している。
2. 発生消長 … 果実表面に白いうどんこ状の症状を呈し、下段の果実から上部へ順次感染する。発症は結果枝単位、あるいは水平方向にまとまって複数の果実が感染する。葉に感染すると葉が枯死する。

発生しやすい条件 : 6月下旬以降、雨が多いと多発する。特に、園内の水たまりができている付近の果実で発病が多く見られる。

防除 : 病果、病葉の早期撤去。土壌からの水の跳ね上がりを防ぐために、樹幹下に敷きわらをする。